


環境保守

CADWe'll Tfasで設定できる情報をファイルに保存し、そのファイルから設定を読み込むツールです。保存・設定の対象となる情報の詳細内容については、【環境保守-作業項目の選択】ダイアログ内のヘルプより  ボタンをクリックし、参照して下さい。

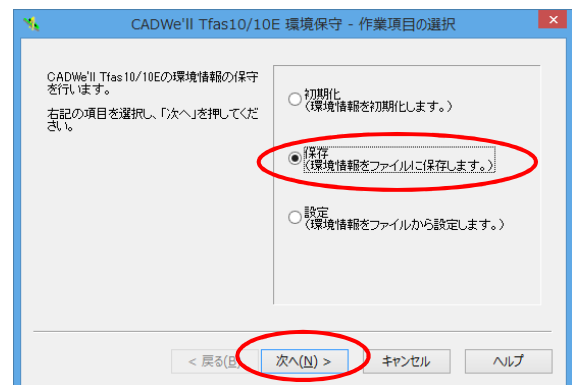
その1 環境情報をファイルに保存する

- ① Tfas が起動している場合は終了します。
- ② Windows の〈スタート〉ボタンから、[すべてのプログラム]-[CADWe'll Tfas 10]-[Tfas 10 環境保守]を起動します。
 ※ Windows 8、Windows 8.1 の場合は、スタート画面から「アプリ」を表示し、[Tfas 10 環境保守]を起動します。

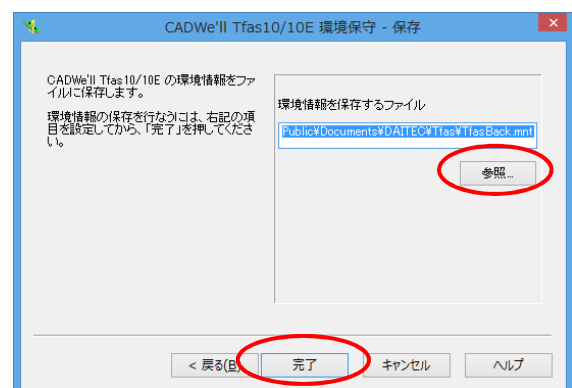
- ③ 【作業項目の選択】ダイアログから「保存」を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

※ 環境情報ファイルの初期の保存場所とファイル名は、以下の通りです。

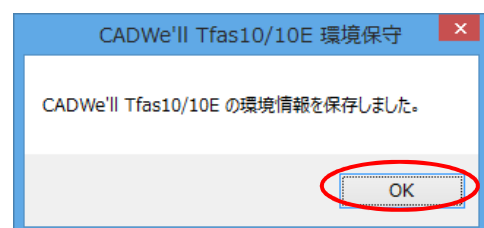
C:\Users¥Public¥Documents¥DAITEC
 ¥Tfas¥TfasBack.mnt



- ④ 〈参照〉ボタンより環境情報を保存する場所とファイル名を指定し、〈完了〉ボタンをクリックします。ファイルの拡張子は「.mnt」になります。

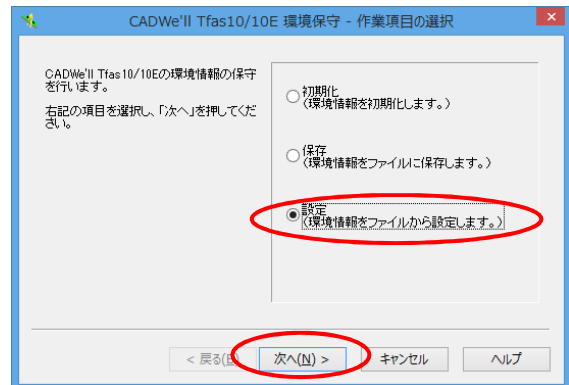


- ⑤ 確認メッセージが表示されますので、〈OK〉ボタンをクリックし、終了します。

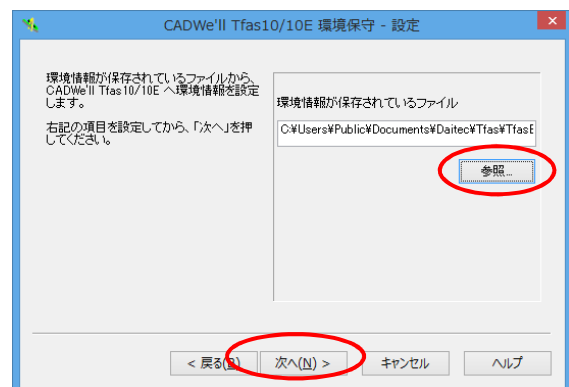


その2 環境情報ファイルを設定する

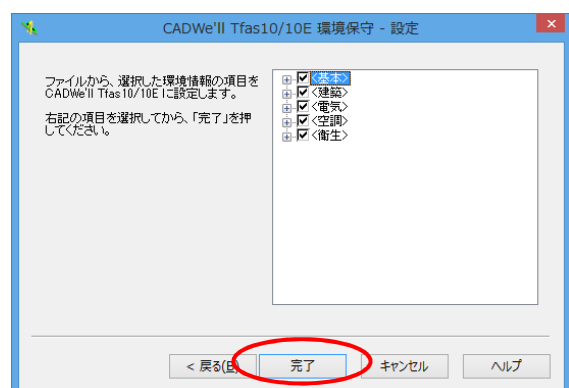
- ① Tfas が起動している場合は終了します。
- ② Windows の〈スタート〉ボタンから、[すべてのプログラム]-[CADWe'll Tfas 10]-[Tfas 10 環境保守]を起動します。
※ Windows 8、Windows 8.1 の場合は、スタート画面から「アプリ」を表示し、[Tfas 10 環境保守]を起動します。
- ③ 【作業項目の選択】ダイアログから[設定] を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。



- ④ 〈参照〉ボタンより「その1 環境情報をファイルに保存する」手順④で保存した環境情報ファイルを選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。



- ⑤ 設定したい項目を選択し、〈完了〉ボタンをクリックします。
※チェックがついているものが適用されます。



- ⑥ 確認メッセージが表示されますので、〈OK〉ボタンをクリックし、終了します。

